

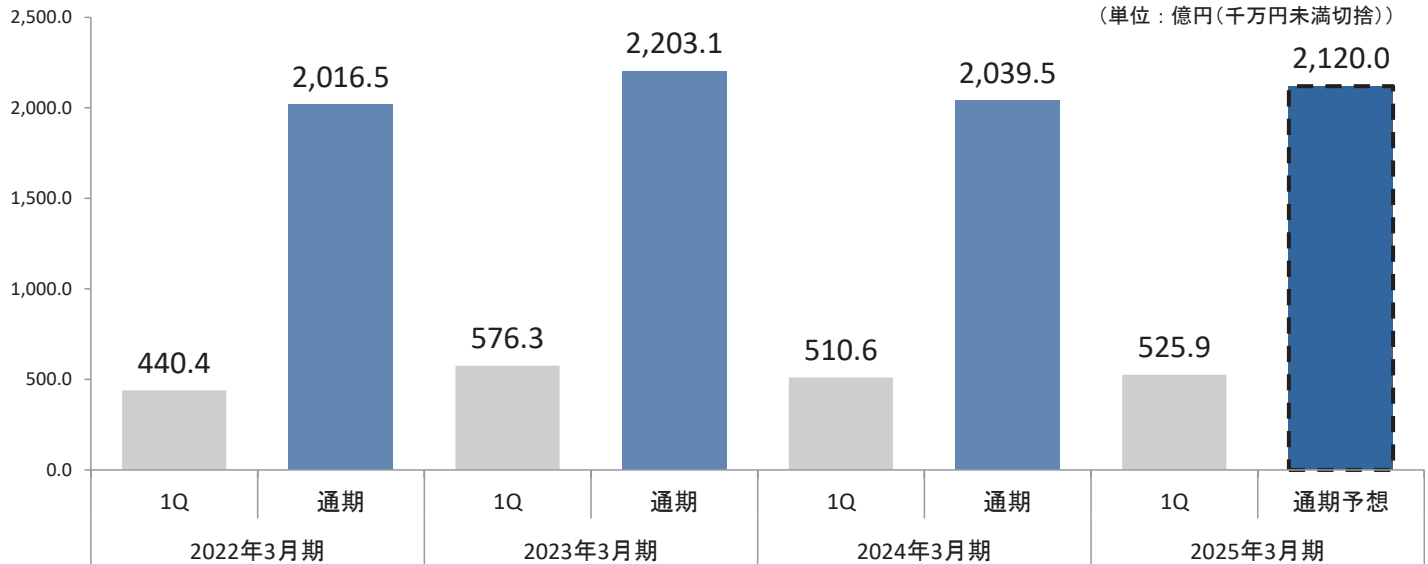
淀川製鋼グループ
2025年3月期第1四半期決算説明資料

2024年8月9日

1 連結業績概要

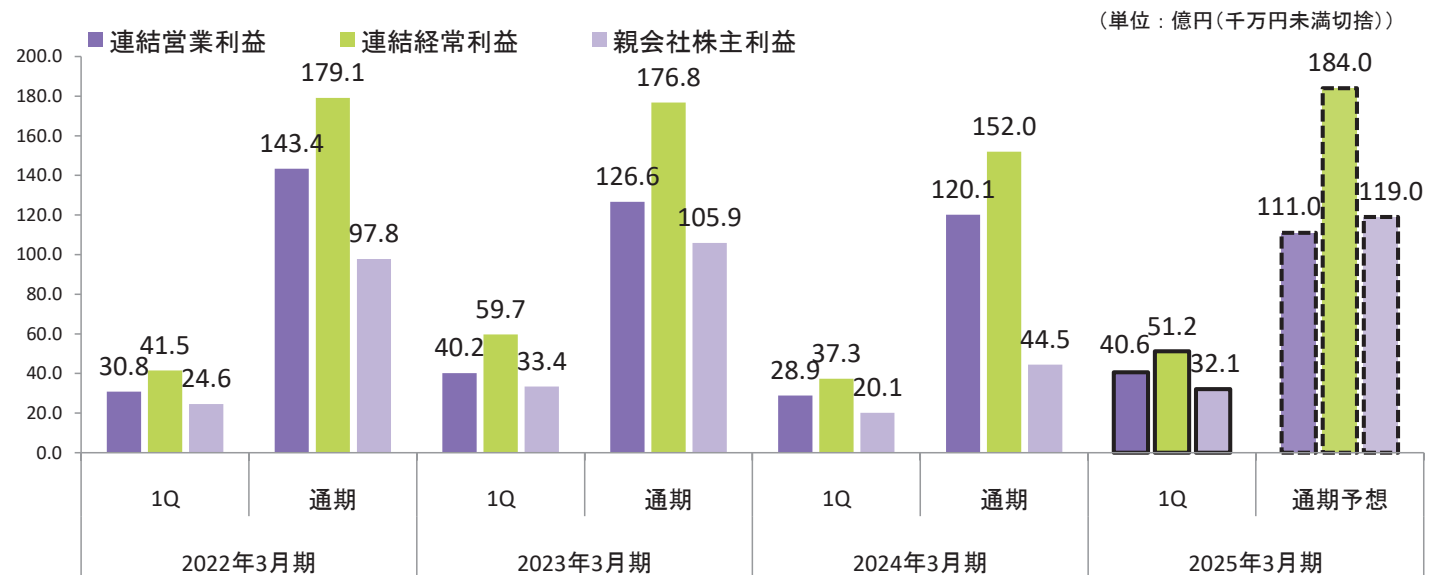
(単位:億円(千万円未満切捨))

	当1Q	前1Q	増減	増減率	特記事項
売上高	525.9	510.6	15.3	3.0%	<売上> 国内:ひも付き鋼板商品の販売数量減少などから減収 海外:台湾SYSCO社の販売数量増加などにより増収
(売上総利益)	89.4	83.0	6.4		
(販管費)	48.8	54.1	△5.2		
営業利益	40.6	28.9	11.6	40.4%	<営業利益> 前期に製品補償引当金を特別損失で計上したことによりクレーム費用が減少 <営業外収益> 為替差益、受取配当金の増加など
(営業外収益)	11.2	9.2	1.9		
(営業外費用)	0.6	0.8	△0.1		
経常利益	51.2	37.3	13.8	37.1%	<特別損失> 前期:固定資産除却損4.0億(柏井社宅撤去費用)ほか
(特別利益)	0.0	0.0	0.0		
(特別損失)	0.2	4.1	△3.9		
税引前利益	51.0	33.1	17.8	53.9%	
(法人税等)	14.6	9.4	5.2		
(非支配株主利益)	4.2	3.5	0.6		
親会社株主利益	32.1	20.1	11.9	59.1%	<包括利益> 当期:四半期純利益36.3億、その他有価証券評価差額金7.6億、為替換算調整勘13.9億ほか
(EPS(円/株))	111.10円	69.87円	41.23円		
包括利益	57.9	57.2	0.7		



【売上高 15.3億増収の主な内訳】

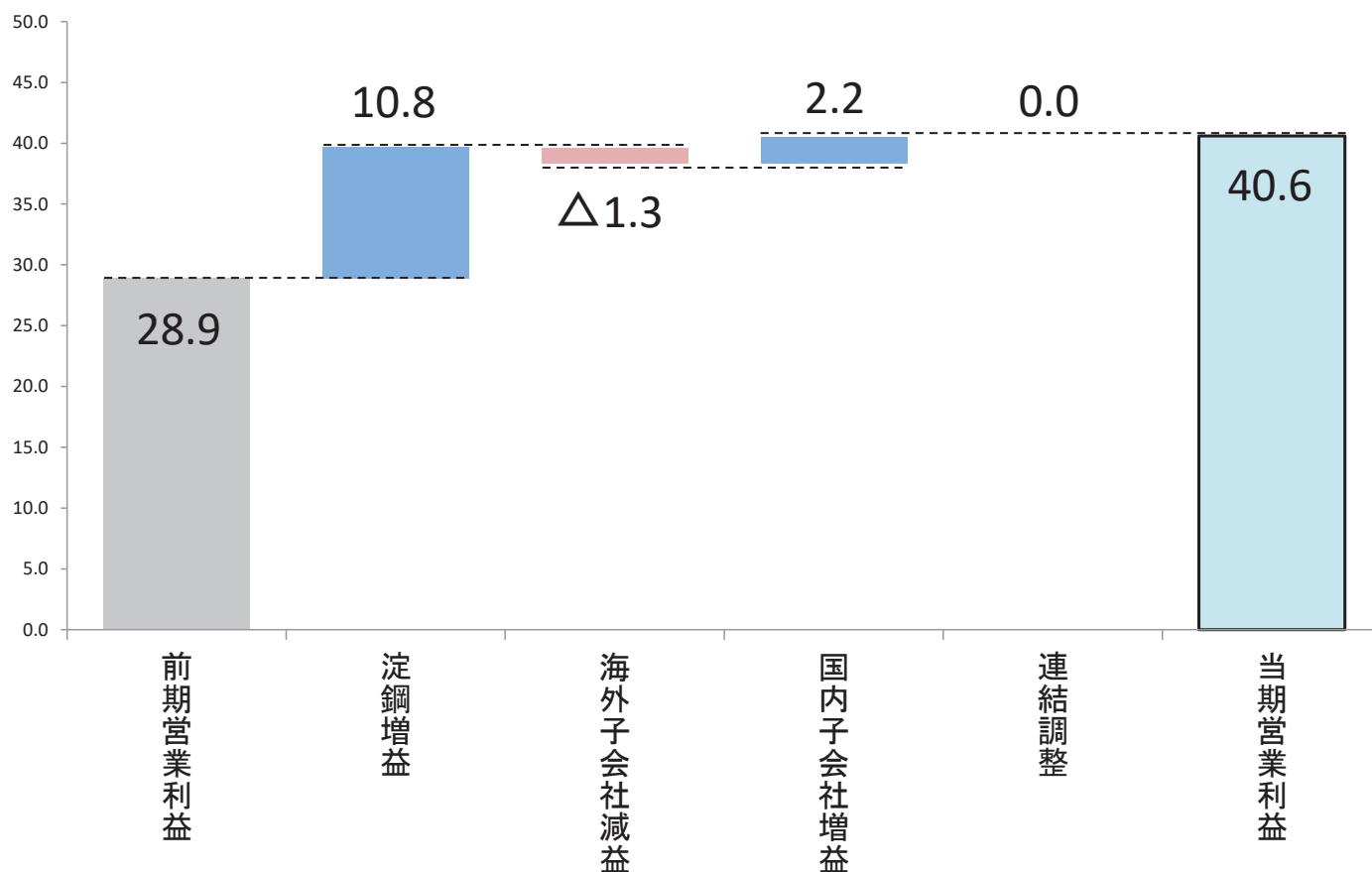
- ・ 淀鋼 $\Delta 5.6$ 億 (342.1 \rightarrow 336.5)
鋼板商品ではひも付きの販売数量が減少、店売りの販売数量が増加。
建材商品では屋根材の販売数量が増加。エクステリア商品は前年同期並み
- ・ 台湾SYSCO社 +32.7億 (119.0 \rightarrow 151.8)
台湾国内向け、輸出向けのいずれも販売数量が増加
- ・ 中国YSS社 $\Delta 2.9$ 億 (22.8 \rightarrow 19.9)
中国不動産市場低迷の長期化の影響を受け、販売数量が減少
- ・ タイPPT社 $\Delta 3.4$ 億 (14.0 \rightarrow 10.5)
ユーザーの需要減により販売数量が減少



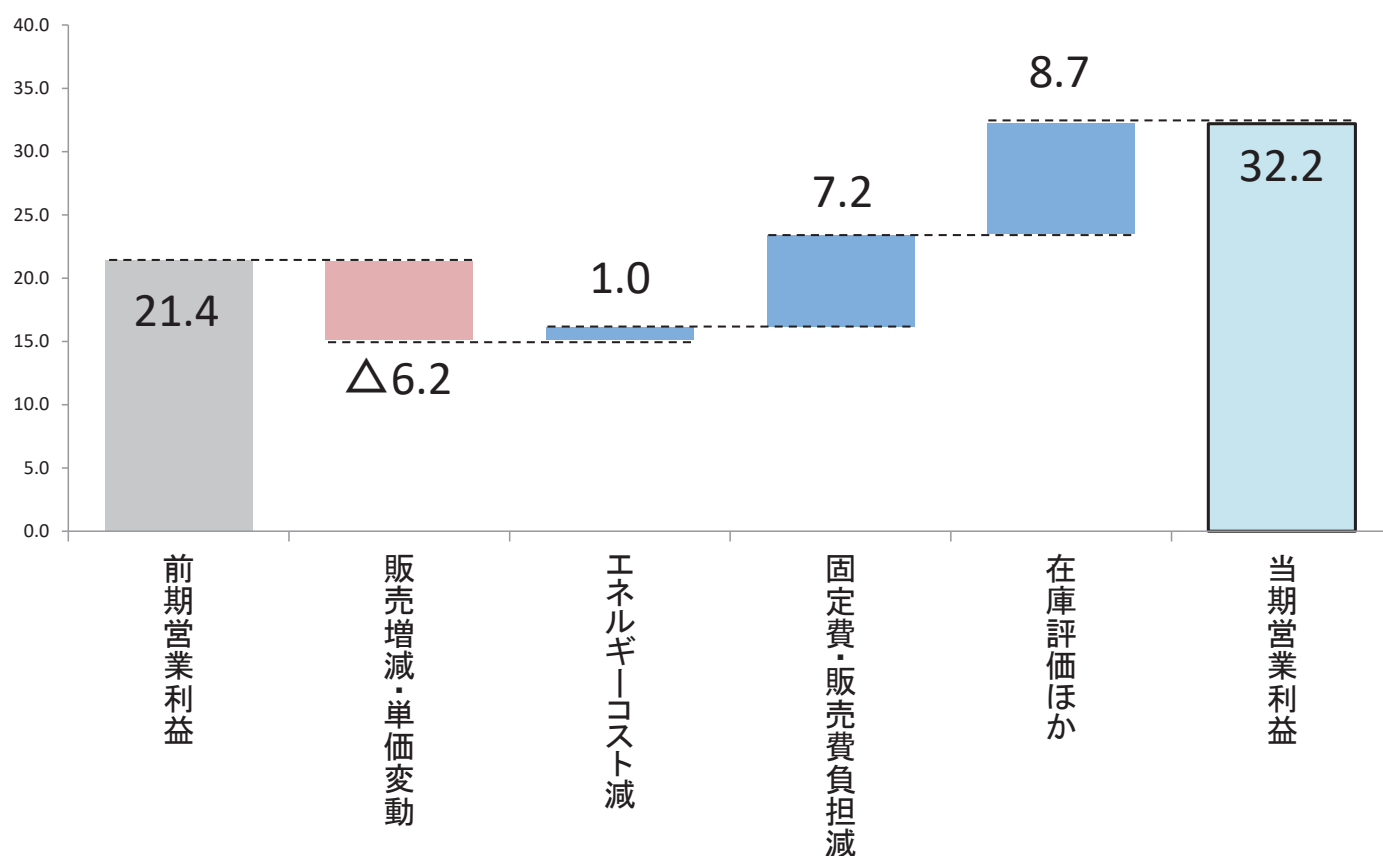
【営業利益 11.6億増益の主な内訳】

- ・ 淀鋼 +10.8億 (21.4 \rightarrow 32.2)
主に前期に製品補償引当金を特別損失で計上したことによりクレーム費用が減少
- ・ SYSCO社 $\Delta 1.3$ 億 (8.8 \rightarrow 7.5)
台湾国内・輸出向けともに販売数量が増加し増収となるも、販売価格が下落し減益
- ・ YSS社 +0.1億 ($\Delta 2.0$ \rightarrow $\Delta 1.8$)
中国不動産市場低迷の長期化の影響を受け、回復に至らず
- ・ PPT社 $\Delta 0.2$ 億 (1.3 \rightarrow 1.1)
ユーザーの需要減により販売数量が減少し、減益

(単位：億円(千万円未満切捨))



(単位：億円(千万円未満切捨))



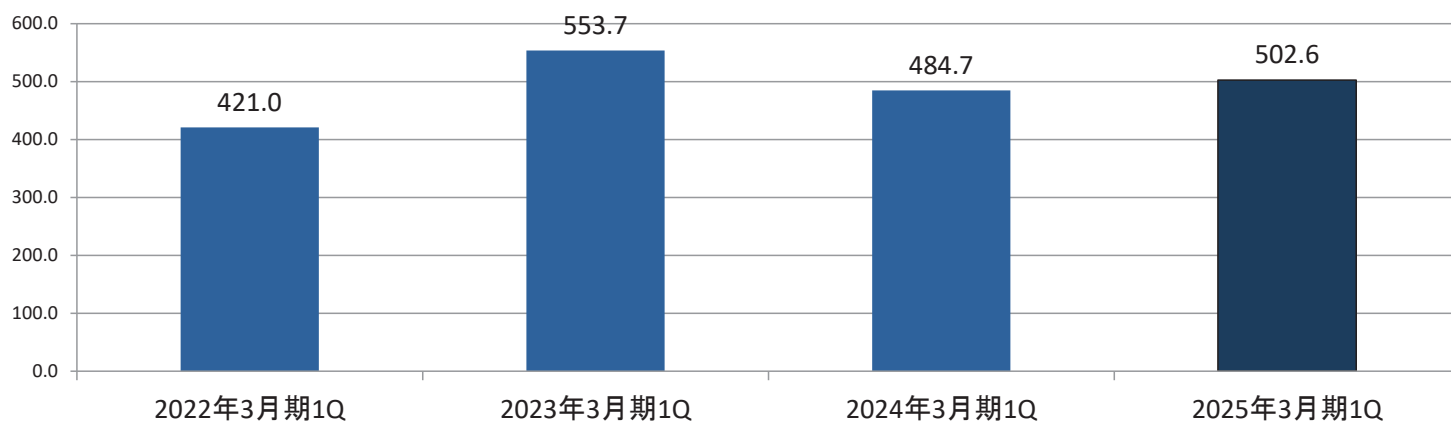
(単位:億円(千万円未満切捨))

	売上高			セグメント利益		
	当1Q	前1Q	増減率	当1Q	前1Q	増減率
鋼板関連	502.6	484.7	3.7%	40.4	28.9	39.6%
ロール	5.9	8.8	△32.7%	0.0	0.5	△83.8%
グレーチング	8.5	8.5	△0.5%	0.4	0.1	202.5%
不動産	3.2	3.1	4.6%	2.0	1.9	1.7%
報告セグメント計	520.3	505.2	3.0%	43.0	31.6	36.0%
その他	5.5	5.3	4.3%	1.5	0.6	142.2%
合計	525.9	510.6	3.0%	44.6	32.3	38.1%
調整額				△4.0	△3.3	
PL計上額	525.9	510.6	3.0%	40.6	28.9	40.4%

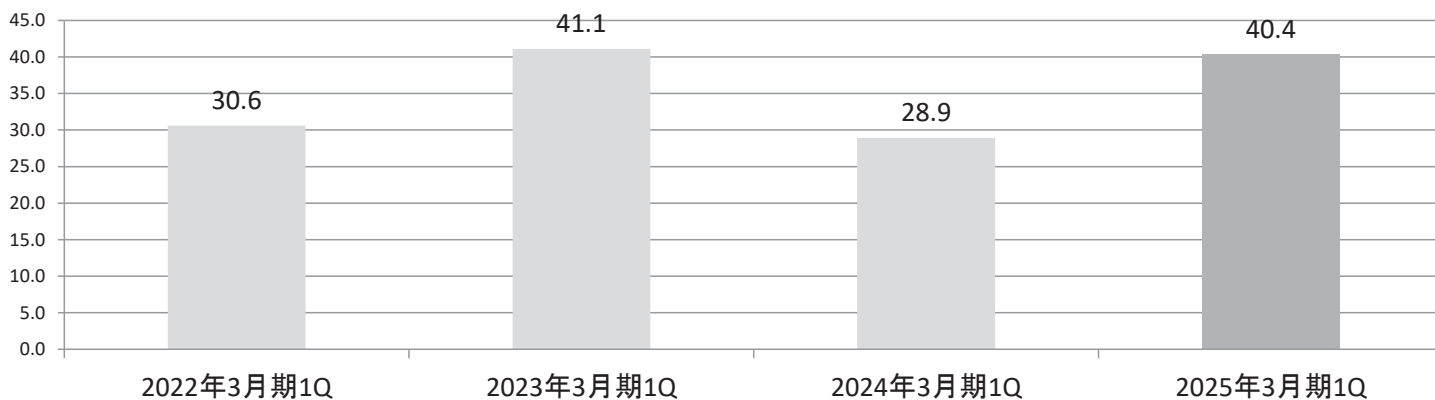
7 セグメント概況 (鋼板関連事業①)

【セグメント売上高】

(単位:億円(千万円未満切捨))



【セグメント利益】



【鋼板業務（日本国内）】

- ひも付き
 建材向け：めっき鋼板は安価な輸入材の流入が止まらず、販売数量減少。
 カラー鋼板は需要の掘り起こしに注力し、販売数量増加
 電機向け：足元の需要は好調に推移するも、日系家電向け販売数量減少
 → ひも付きでは販売価格の維持に努めるも、販売数量減少により減収
 - 店 売 住宅向けの荷動きは依然鈍く軟調な環境の中、
 一部非住宅向けの堅調な動きと鋼材の先高観もあり、
 販売数量が増加し、増収
- 前年同期比較では店売りの販売数量増加が貢献したことから増益

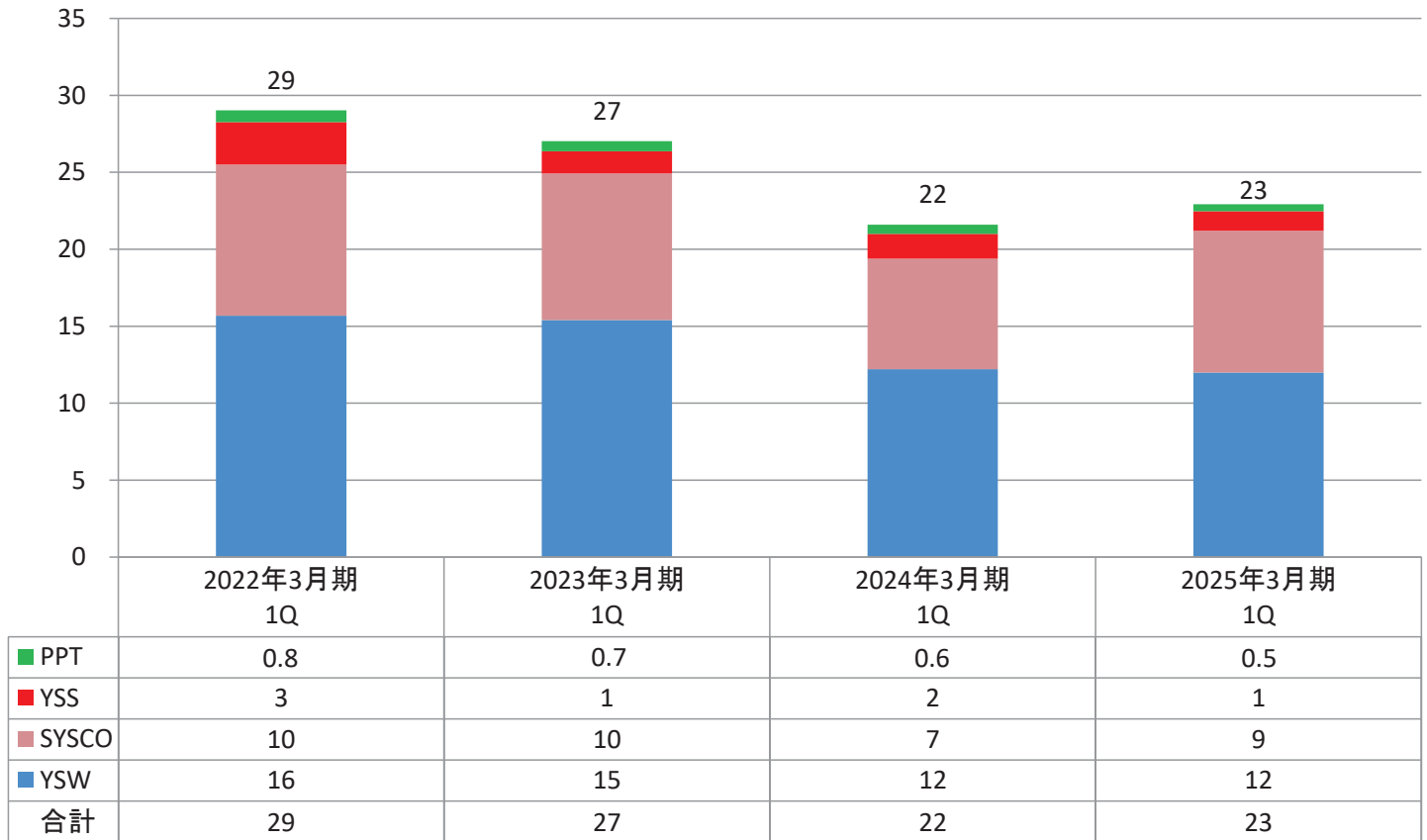
9 セグメント概況（鋼板関連事業②）

【鋼板業務（海外）】

- 海外
 SYSCO社（台湾）：台湾国内向けめっき鋼板の販売数量は回復。カラー鋼板の
 販売数量は減少
 輸出向けはめっき鋼板、カラー鋼板ともに販売数量は回復
- SYSCO社全体では増収も、台湾国内の鉄鋼市況軟化などにより減益
- Y S S 社（中国）：不動産市況低迷の長期化により、大きな改善には至らず
- P P T 社（タイ）：ユーザーの需要減により販売数量が減少し、減収・減益

【グループ鋼板商品の一級販売数量推移(1Q)】連結消去は考慮せず

(単位：万トン)



11 セグメント概況（鋼板関連事業③）

【建材業務(外装建材商品・工事)】

- 屋根材の販売数量が増加し、外装建材商品は増収
- 工事は大型物件が堅調に推移し、増収

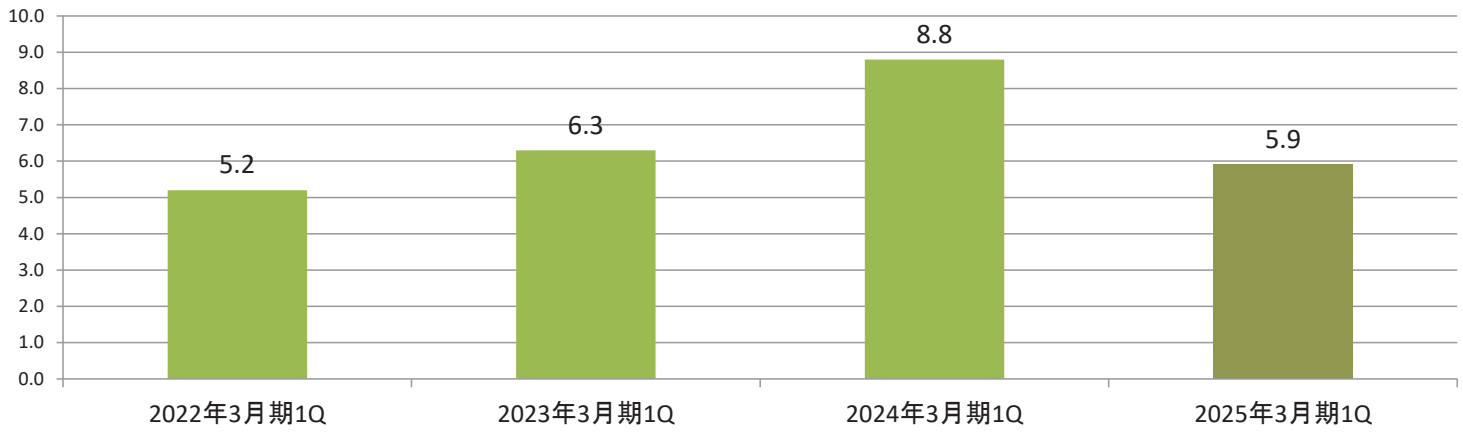
【建材業務(エクステリア商品)】

- ガレージ・大型倉庫は前年同期並みに推移
- 物置の販売数量は増加
- エクステリア商品全体では前年同期並み

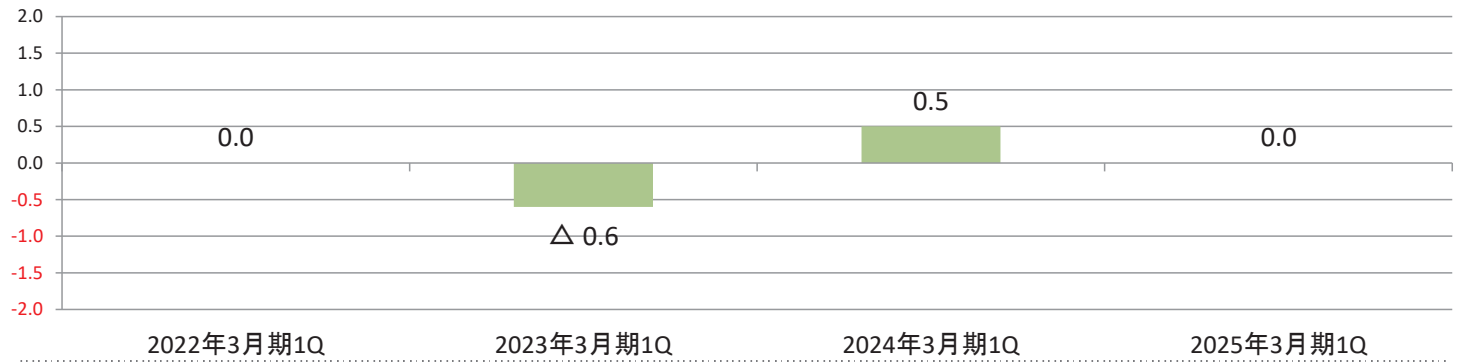
12 セグメント概況（ロール事業）

【セグメント売上高】

(単位: 億円(千万円未満切捨))



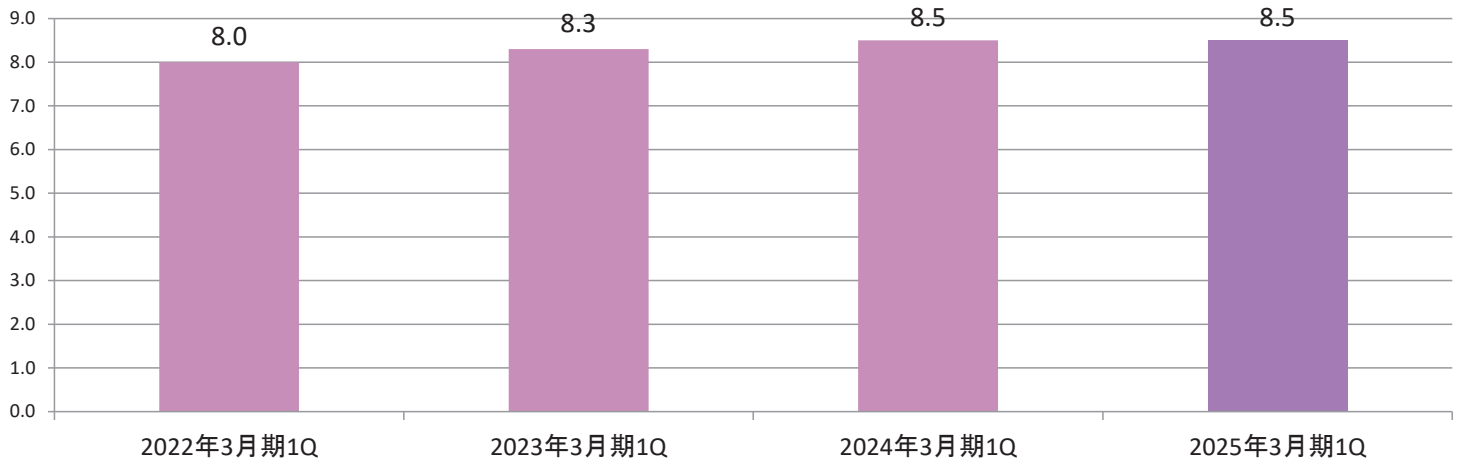
【セグメント利益】



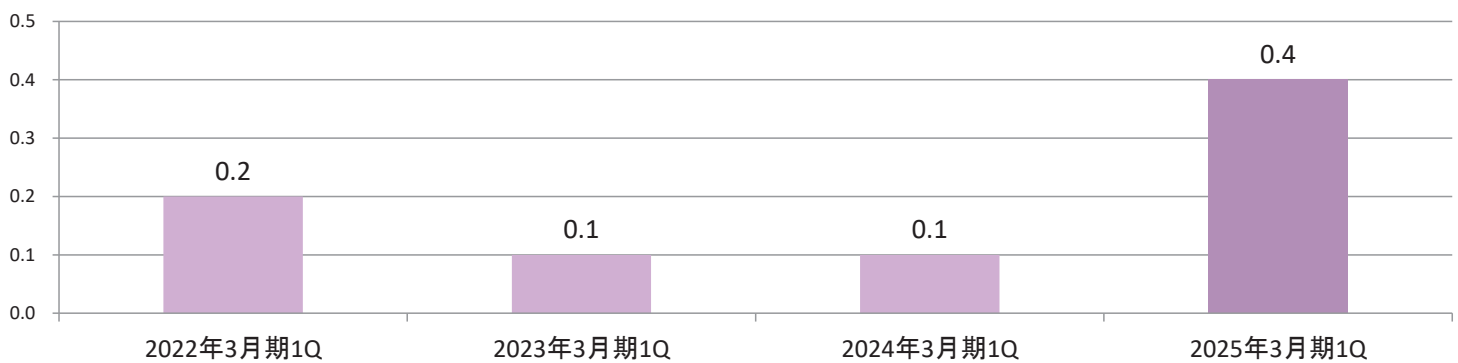
13 セグメント概況（グレーチング事業）

【セグメント売上高】

(単位: 億円(千万円未満切捨))

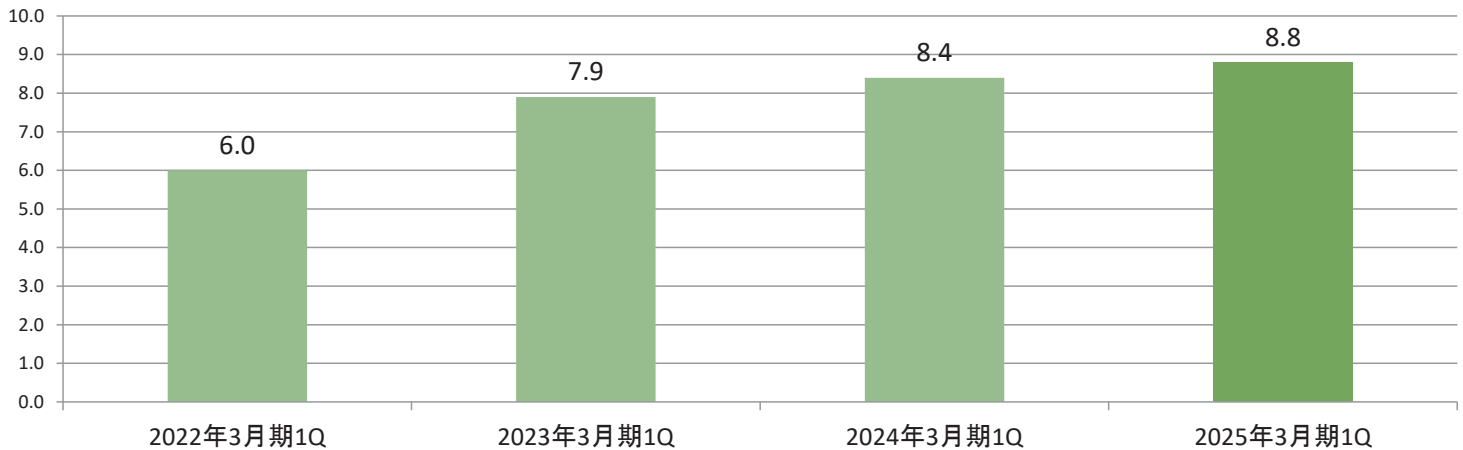


【セグメント利益】

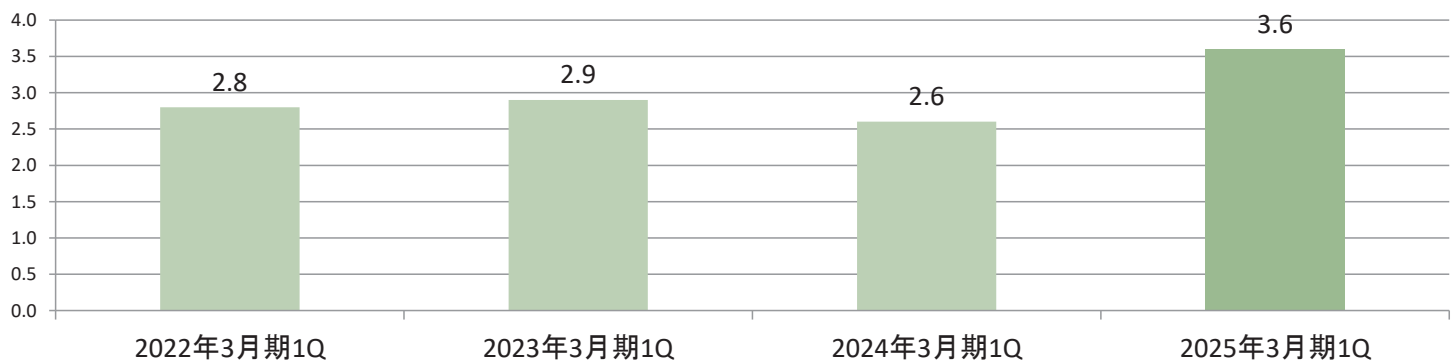


【セグメント売上高】

(単位: 億円(千万円未満切捨))



【セグメント利益】



15 セグメント概況（ロール、グレーチング、不動産ほか）

【ロール事業】

- ・ 主に日本国内向けの販売数量が減少し、減収・減益

【グレーチング事業】

- ・ 販売数量は減少するも、販売価格改善により減収・増益

【不動産事業ほか】

- ・ 不動産事業は売上・損益ともにほぼ前年同期並みに推移
- ・ その他事業は前年同期比で倉庫運送事業などの売上が回復

(単位:億円(千万円未満切捨))

	当1Q末	前期末	増減	増減率	特記事項
総資産	2,676.2	2,658.6	17.6	0.7%	<資産> (流動)受取手形、売掛金及び契約資産の増加、原材料及び貯蔵品の増加など (固定)投資有価証券の増加など
(流動資産)	1,567.2	1,561.1	6.0	0.4%	
(固定資産)	1,109.0	1,097.4	11.5	1.0%	
負債	522.1	520.3	1.8	0.4%	<負債> (流動)支払手形及び買掛金の増加など (固定)繰延税金負債の増加など
(流動負債)	282.1	281.1	0.9	0.3%	
(固定負債)	240.0	239.1	0.8	0.4%	
純資産	2,154.1	2,138.3	15.7	0.7%	<株主資本> 当期:親会社株主純利益32.1億、配当△41.8億など <その他包括利益累計額> 有価証券評価差額金の増加 為替換算調整勘定の増加など
(株主資本)	1,555.7	1,565.5	△9.8	△0.6%	
(その他包括利益累計)	346.1	330.2	15.9	4.8%	
(非支配株主持分)	250.9	241.2	9.6	4.0%	
(BPS(円/株))	6,582.34	6,561.18	21.16		
自己資本	1,901.9	1,895.8	6.1	0.3%	
自己資本比率	71.1%	71.3%	△0.2pt		

17 上期業績予想

(単位:億円(千万円未満切捨))

2025年3月期(上期)	今回予想 (2024年8月9日時点)	前期比 増減	前回予想 (2024年5月10日時点)	前回予想比		
				増減額	増減率	
連結	売上高	1,060.0	4.7%	1,030.0	30.0	2.9%
	営業利益	74.0	35.2%	54.0	20.0	37.0%
	経常利益	88.0	14.7%	74.0	14.0	18.9%
	親会社株主利益	53.0	2.2%	46.0	7.0	15.2%
個別	売上高	670.0	2.7%	630.0	40.0	6.3%
	営業利益	59.0	30.6%	44.0	15.0	34.1%
	経常利益	79.0	10.6%	69.0	10.0	14.5%
	当期純利益	57.0	2.5%	50.0	7.0	14.0%

- 連結は、中国では物件の中止や延期により、建材需要の低迷が想定よりも長期化しており、販売数量の減少を見込む。一方で、台湾SYSCO社の販売数量は増加を見込み、全体では上期増収の見通し。
- 個別は、店売り商品の販売数量増加が寄与し、増収を見込む。

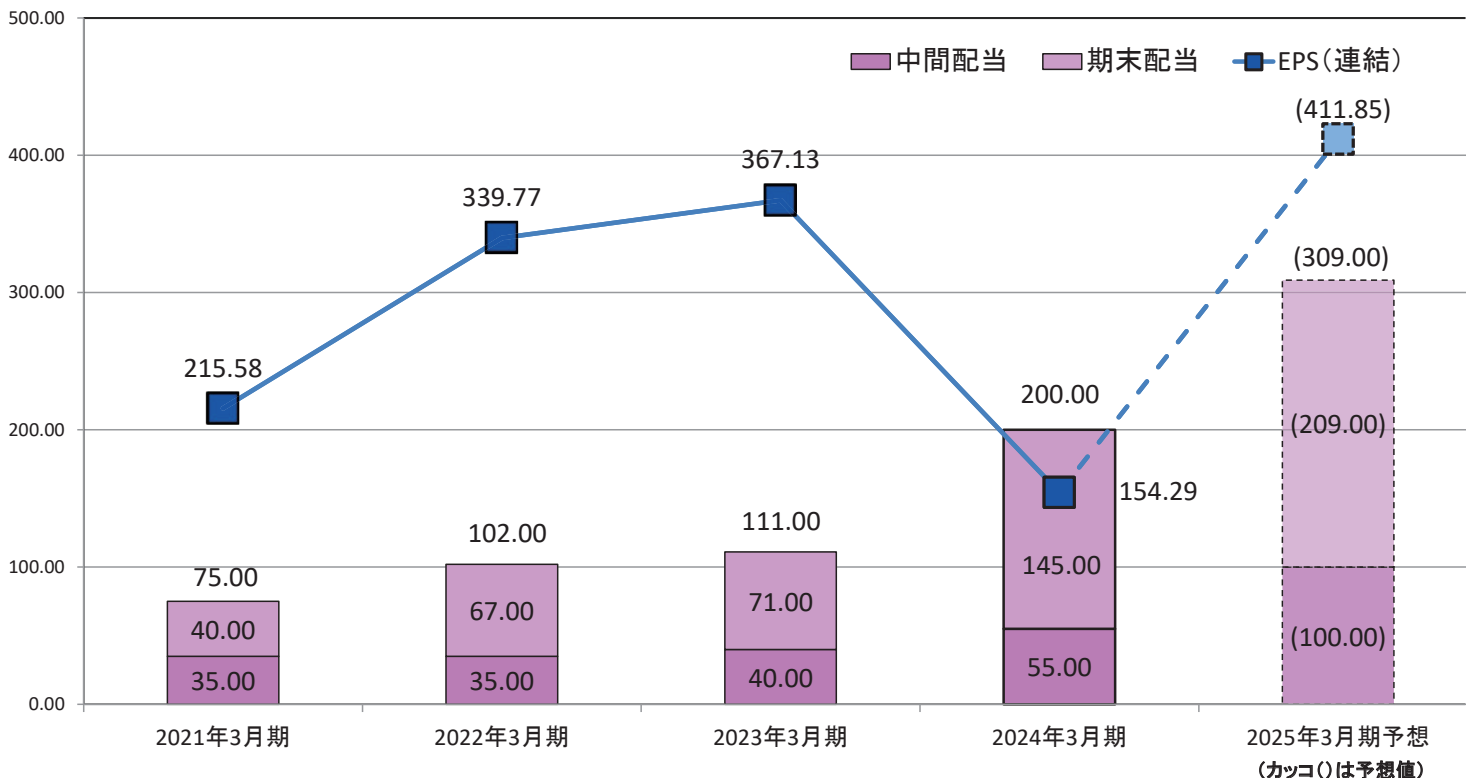
(単位: 億円(千万円未満切捨))

2025年3月期(通期)		今回予想 (2024年8月9日時点)		前回予想 (2024年5月10日時点)	前回予想比	
		前期比 増減	増減額		増減率	
連結	売上高	2,070.0	1.5%	2,120.0	△50.0	△2.4%
	営業利益	121.0	0.7%	111.0	10.0	9.0%
	経常利益	192.0	26.3%	184.0	8.0	4.3%
	親会社株主利益	119.0	167.0%	119.0	-	-
個別	売上高	1,280.0	△1.3%	1,270.0	10.0	0.8%
	営業利益	95.0	3.6%	88.0	7.0	8.0%
	経常利益	167.0	35.7%	163.0	4.0	2.5%
	当期純利益	117.0	-	115.0	2.0	1.7%

- 通期では、主に日本国内において高止まりする鋼材市況の影響などから、下期にかけて需要が弱含み、販売数量が伸び悩むことを想定。

19 配当

(単位: 円/株)



- 2025年3月期の配当は中間100円、期末209円 年間配当は309円を予想